

三鷹の森ジブリ美術館

三鷹市民・近隣市市民招待デー

10月1日(土)・10月2日(日)



今回で5回目を迎えた「三鷹市民デー」。三鷹の森ジブリ美術館に三鷹市民の方などを抽選でご招待します。

今回は、「アルプスの少女ハイジ」展 開催記念として、「アルプスの少女ハイジ」第1話の上映、ヨードルやアルプホルン演奏会などの楽しいイベント(10月2日(日)のみ)も行う予定です。くわしくは次号以降でご案内します。

◆「三鷹市民および近隣市市民デー」10月1日(土) 10月2日(日)

対象は三鷹市および近隣市(武蔵野市、小金井市、西東京市、調布市、府中市)に在住の方。4人1組で600組(2千400人)をご招待。

◆「三鷹市民デー」10月2日(日) 対象は三鷹市民。4人1組

で600組(2千400人)をご招待。

▼8月18日(木) (必着) までに、はがきに郵便番号・住所・代表者の氏名(ふりがな)・年齢・人数(代表者を含む4人まで)・電話番号・別表の申込区分番号(1区分のみ、複数不可。三鷹市民の方は①⑧のいずれか、近隣市市民の方は②④のいずれかを記入し「〒181-8555 三鷹市役所コミュニティ文化室『三鷹の森ジブリ美術館招待係』へ申し込む。

※当選者には9月中旬までに招待状を発送します。電話などによる当否の確認はできません。

↓コミュニティ文化室☎内線2517

三鷹市民および近隣市市民招待デー (10月1日(土))		
区分番号	入場時間	招待者数
①	10:00	150組/600人
②	12:00	150組/600人
③	14:00	150組/600人
④	16:00	150組/600人

三鷹市民デー (10月2日(日))		
区分番号	入場時間	招待者数
⑤	10:00	150組/600人
⑥	12:00	150組/600人
⑦	14:00	150組/600人
⑧	16:00	150組/600人

持ち帰ること。抽選時の車での来館はご遠慮ください。

↓同工房(水・木・土・日曜)午前10時～午後4時開館 ☎34-3196

「こみゼロ・リサイクル促進ポスターコンクール」作品募集

環境省・こみゼロパートナーシップ会議主催。こみの量を減らしリサイクルを推進するため、こみの減量、過剰包装の抑制、リサイクルへの協力、散乱ごみ対策、「もったいない」の考え方をテーマとしたポスターを募集します。

◆募集区分 小学生低学年の部(1～3年生)、小学生高学年の部(4～6年生)、中学生の部

◆応募規格 四つ切り(38センチ×54センチ)またはB3版(36センチ×51センチ)。画材は特に問いませんが、立体性のある作品(糊などを使用し張り付けたもの)は対象外。作品の裏面に、応募者の氏名・年齢・学年・学校名・学校所在地(住所・電話番号)を必ず明記してください。

▼9月2日(金) (必着) までに「〒181-8555 三鷹市役所ごみ対策課」(市役所5階)へ郵送または持参する。郵送の際は作品を折りたたみ丸めたりしないこと。

※応募作品は1学校につき募集区分ごとに10点以内とさせていただきます。

※募集区分ごとに最優秀賞1点、優秀賞3点(いずれも賞状および副賞)。最優秀賞受賞者は10月に長崎県で開催予定の全国大会で表彰します。

※応募作品の著作権は主催者に属します。作品は返却しません。

※主催者など(主催者が認める新聞など)が作成する広報用のポスター、パンフレットなどに学校名や氏名が掲載されることがあります。

↓こみゼロパートナーシップ会議事務局 ☎03-5804-6281・三鷹市ごみ対策課 ☎内線2533

報用のポスター、パンフレットなどに学校名や氏名が掲載されることがあります。

↓こみゼロパートナーシップ会議事務局 ☎03-5804-6281・三鷹市ごみ対策課 ☎内線2533

「三鷹市選挙管理委員会・三鷹市明るい選挙推進協議会」では、明るく正しい選挙の実現をPRするポスター・習字・標語作品を募集します。

◆ポスター 対象は市内在住・在学の小・中・高校生(1人1点)。大きさは、画用紙の四つ切(54センチ×38センチ、8つ切(38センチ×27センチ)もしくはそれに準じる大きさ。画材は自由。裏面右下に学校名・学年・氏名(ふりがな)を記入。審査は、小・中・高校別に行い、入選作品は、東京都選挙管理委員会主催の審査会に出品します。

◆習字 対象は市内在住・在学の中学生(1人1点)。「貴い一票」を習字用半紙で、学校名・学年・氏名を書き入れる。

◆標語 対象は在勤・在学を含む市民。内容は、投票率の低い20歳代に向けて「投票参加」を呼びかけるものなど、明るい選挙を推進するための主張を簡潔に表現したもの。用紙は自由。住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入。

▼いずれも9月9日(金)までに「〒181-8555 三鷹市選挙管理委員会事務局」(市役所第三庁舎)へ郵送または持参する。お近くの「明るい選挙推進委員」を通じて応募できます。

※応募作品は、自作・未発表のものに限ります。

※入選作品には賞状と記念品を贈呈。また応募者全員に参加賞を贈ります。

※入選者は「広報みたか」および市のホームページに学校名・学年・氏名などを掲載し、入選作品は、明るい選挙推進のための各種事業に活用させていただきます。

↓選挙管理委員会事務局 ☎内線3035

品を贈呈。また応募者全員に参加賞を贈ります。

※入選者は「広報みたか」および市のホームページに学校名・学年・氏名などを掲載し、入選作品は、明るい選挙推進のための各種事業に活用させていただきます。

↓選挙管理委員会事務局 ☎内線3035

防火による事故を防ぐため、防火による火災を防ぐ10のポイント

- ① 花火は説明書をよく読んで注意事項を必ず守り、正しく取り扱います。
- ② 花火を人や家に向けてたり、燃えやすい物のある場所で行うのはやめましょう。
- ③ 風の強い時は花火をやめましょう。
- ④ 必ず水の入ったバケツを用意しましょう。
- ⑤ 遊び終わった花火は、必ずバケツの水に浸けて残り火を完全に消しましょう。
- ⑥ 子どもたちだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。
- ⑦ 一度にたくさんの花火に火を点けないようにしましょう。
- ⑧ 正しい位置に、正しい方法で点火しましょう。
- ⑨ 噴き出し、打ち上げなどの筒物花火は、途中で火が消えても筒を覗くのはやめましょう。
- ⑩ 花火をほぐして遊ぶことはやめましょう。

↓三鷹消防署査察指導係 ☎47-0119 内線521

品を贈呈。また応募者全員に参加賞を贈ります。

※入選者は「広報みたか」および市のホームページに学校名・学年・氏名などを掲載し、入選作品は、明るい選挙推進のための各種事業に活用させていただきます。

↓選挙管理委員会事務局 ☎内線3035

防火による事故を防ぐため、防火による火災を防ぐ10のポイント

- ① 花火は説明書をよく読んで注意事項を必ず守り、正しく取り扱います。
- ② 花火を人や家に向けてたり、燃えやすい物のある場所で行うのはやめましょう。
- ③ 風の強い時は花火をやめましょう。
- ④ 必ず水の入ったバケツを用意しましょう。
- ⑤ 遊び終わった花火は、必ずバケツの水に浸けて残り火を完全に消しましょう。
- ⑥ 子どもたちだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。
- ⑦ 一度にたくさんの花火に火を点けないようにしましょう。
- ⑧ 正しい位置に、正しい方法で点火しましょう。
- ⑨ 噴き出し、打ち上げなどの筒物花火は、途中で火が消えても筒を覗くのはやめましょう。
- ⑩ 花火をほぐして遊ぶことはやめましょう。

↓三鷹消防署査察指導係 ☎47-0119 内線521

市民文芸

三鷹歌会6月の秀歌

選と評 金田義直

香き日に詩吟習ひし時期ありてふと口ずさむ「常盤狐を抱く」の図

評 大河ドラマ「義経」で常盤が今若を抱き若の手を引いて館を落ちゆくシーンがあったがそれに触発されての一首であろう。上の句はもっと単純化した。

枕辺の「祈りの蛙」に手を触れて手術室へと向かはむとする

評 「蛙」は「帰る」に通じるところか。手術の成功や退院を叶える縁起物とされているのだらう。作者の手術直前の不安な気持ちから「祈りの蛙」への所作がよく出ている。

初夏の朝は太陽は高く在りキッテン明るくキャベツを刻む

評 明るいのはキッテンだけではなく、作者の気持ちも、キャベツを刻む音までもが明るく弾んでいるのだ。平凡だが気持ちのよい歌。

萌え出でし若葉の生垣に朝を沿ひゆくわが杖の音 高木 文代

評 「要はカナメモチの略若葉は紅色を帯び目に優しい。早朝の散歩の一瞬。静けさが伝わってくる。

地下鉄の地上に出し瞬間を若葉を照らす光に眩む 松村美恵子

評 暗い所からいきなり明るい所にでると一瞬目が眩むものだが、それを「若葉が照らす光」の所為とした下の句が光る。

日に映えて茂る若葉の落とす影すがしき冷さを湛えてをりぬ

評 木陰のもつひんやりとしたすがしさをうまく詠っているのだが、すがしき冷さは疑問。

異常気象の続く世となり「衣替へ」次第に死語となりてゆくのか 神玉満智子

評 異常気象だけが原因ではなからうが衣替えの慣習が廃れて来ていることは自明の理である。このような世の趨勢

を善くし思う作者に同感

■三鷹俳句会7月の秀句

選 著 井上弘 飯田六斗

炎天下肩に重たく己が首

伊藤紫春

簾して午後の時間の動かざる

寺田綱子

忘れ居し土の匂いや老荷汁

田中淑子

炎天や我が影の濃さ確かむる

南みち

炎天の匂ひ残して宅配夫

小本貴子

炎天やゆらり波打つ象の腹

小泉秀夫

捨てかねてまた袖とほす夏衣

赤木きよ

夜の蟻妖(あや) しきまでに黒き艶

清水ゆきえ

炎天や時のためたふ旧街道

田山光起

天の川蓬瀛に二つの宇宙

根岸操

炎天へ挑むが如く飛機墜落

牧文字

ひとすじに生きるのみなり天の川 大竹ハル子

日盛りの坂幾人(いくたり)に抜かれつつ 大和谷慈子

前世の罪の深さかこの炎天 根岸敏三

東の間の炎天庭の蔭こそせ 大野静二

雷ありて長居の客となりけり 土井雅子

炎天や棚田見廻る坂の道 三矢惠啓

激辛のカレー食おうと炎暑には竿売りのポリウム上げる梅雨晴間 大久保英一

腕まくりして薙髪切りし腕の傷 拝司園子

8月の例会は、14日(日)午後1時より三鷹駅前地区公会堂(予定)で。兼題は「西瓜」、出句は3句、資料代1千円、くわしくは大和谷宅 ☎46-9820へ。